

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 113-8602
住 所 東京都文京区千駄木1-1-5
氏 名 学校法人 日本医科大学
理 事 長 坂本 篤裕 印
(代理人) 武蔵小杉病院 院長 谷合 信彦
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 日本医科大学			
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市中原区小杉町1丁目383番地			
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者			
	☐ 規則第4条第2号該当事業者			
	☐ 規則第4条第3号該当事業者			
	☐ 規則第4条第4号該当事業者			
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)			
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉	
	中分類	83	医療業	
主たる事業 の内容	一般病院			
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		2,383 k l	
	☐ 自動車の台数		台	
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名		
		所在地		
	電話番号			
	FAX番号			
	メールアドレス			
※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019年度～2021年度 (報告年度2021年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 4 ※印の欄は記入しないでください。
 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標排出量
排出量 (t-CO ₂)	(実) 4,320 (調) 4,224	(実) 4,203 (調) 4,109	(実) 4,171 (調) 4,056	(実) 4,285 (調) 4,250	(実) 4,307 (調) 4,211
削減率		(実) 2.7 % (調) 2.7 %	(実) 3.4 % (調) 4.0 %	(実) 0.8 % (調) -0.6 %	(実) 0.3 % (調) 0.3 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原単位等の活動量	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標とした値
排出量原単位 等の値					
活動量の値					-
排出量原単位 等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	2020年1月の先端医学研究所の千駄木キャンパスへの移転により、電力使用量が少なくなりました。新病院への移管を控えておりますが、厨房エリアのみ空調機の劣化が激しく、冷房の効きも悪いため更新しました。来院数の増加や夏場の高気温推移など増エネとなる要因がありましたが、事務局エリア空調温度設定値の適正化、照明の小まめな消灯等に取り組みました。	
第2年度	COVID19 患者受け入れにより専用病床の24h換気を行っている。更に病院全体の感染予防対策の為、換気量を増やした結果エネルギー使用量が増加しています。2021年度に新病院開設を予定していますがB館中央オペ室系統チラー1台、劣化による能力低下が著しく2020年度に更新しました。新病院移行までの期間、機器の効率運転、日々の省エネ活動に努めます。	
第3年度	2021年9月から新病院を開院し、旧病院を廃止しました。新病院は旧病院に比べて規模が大きくなりましたが、開院直後は病床使用率が低かったこと、新病院では、機器効率の高い空調設備、LED照明設備を導入したことから、温室効果ガスの増加を抑えました。新病院では、エリア単位の空調温度設定値、運転スケジュールの適正化に取り組み、日々の省エネ活動に努めました。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		2020年度については、COVID19の流行により、エネルギー使用量の増がありましたが、2021年度の新病院の開院に合わせて機器効率の高い設備を導入したことにより、エネルギー量の増加を抑えました。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		2022年度以降は、新しい設備の運用の最適化を図り、省エネ活動を進めます。

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	(1) 定例の省エネ対策会議を開催し、専門業者の協力を得て設置するとともに、責任者の明確化、マニュアル類の整備を図る。 (2) 主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理の徹底を図る。 (3) BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細把握を図る。 (4) 医療に直接かわらない管理部門等のエリアの空調温度設定の緩和を徹底する。 (5) 更新機器について随時トップランナー機器へ置き換える。 (6) 更新を実施する照明装置はLEDの省エネ型およびセンサ等を利用した器具を採用する。 (7) 複写機、電子計算機について随時トップランナー機器へ置き換える。
第1年度	(1) 省エネ推進委員会を開催し、責任者の明確化、マニュアル類の整備を行った。 不要な照明の消灯、不使用事務機器の電源断(待機電力削減)、カーテン・ブラインド活用、クールビズ (2) 主要設備の管理マニュアルを整備し、管理マニュアルに則った点検管理を行った。 (3) BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細を把握した。 (4) 管理部門エリアの空調温度設定の緩和を行った。 管理部門等 28℃(外来診療部門・病棟等 26℃設定) (6) 更新時、照明器具はLED、トイレなどは人感センサー付きを採用した。
第2年度	(1) 省エネ推進委員会を開催し、責任者の明確化、マニュアル類の整備を行った。 不要な照明の消灯、不使用事務機器の電源断(待機電力削減)、カーテン・ブラインド活用、クールビズ (2) 主要設備の管理マニュアルを整備し、管理マニュアルに則った点検管理を行った。 (3) BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細を把握した。 (4) 管理部門エリアの空調温度設定の緩和を行った。 管理部門等 28℃(外来診療部門・病棟等 26℃設定) (6) 故障更新時、照明器具はLEDを採用した。
第3年度	(1) 新しく資材課、エネルギー管理室での省エネ推進小委員会を随時行い電力の削減案を検討しマニュアル化を進めた。 (2) 主要設備の管理マニュアルを整備し、管理マニュアルに則った点検管理を行った。 (3) BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細を把握した。 (4) 管理部門エリアの空調温度設定の緩和を行った。 管理部門等 28℃(外来診療部門・病棟等 26℃設定) (5) 新病院開設に合わせて、空調設備等、トップランナー機器を導入した。 (6) 新病院開設に合わせて、照明器具はLEDを採用した。 (7) 新病院開院に合わせて、複写機、電子計算機等をトップランナー機器へ置き換えた。
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	2021年8月までは、運用面で省エネ対策を推進し、2021年9月には、新病院の開設に合わせて、機器効率の高い設備を導入した。

(2) 再生可能エネルギー等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()	×	
その他 ()	×	

イ 再生可能エネルギー等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	×
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	×

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	寄与する措置に係る事項は無し
第1年度	—
第2年度	—
第3年度	—

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	(1) 武蔵小杉病院は第二種管理指定工場に指定されており、同法に基づく管理、報告を徹底する。中長期計画等は本部とも連携して作成する。 (2) 発生する廃棄物は、医療廃棄物、一般廃棄物(個別分類)等に厳格に分類し、可能なものはリサイクルし、廃棄物総量の抑制に努める。 (3) 武蔵小杉病院は敷地内に樹木、植栽を豊かに有し、その維持管理についても徹底する。 (4) 武蔵小杉病院は駅至近であり交通の便も優れるため、夜勤者等を除いて、<u>病院職員の公共交通機関での通勤を徹底する。</u>
第1年度	(1) 本部と連携して中長期計画書を策定し、省エネ法に基づく管理、報告を適切に行った。 (2) 廃棄物の分別の徹底を実施し、リサイクル、廃棄物抑制に努めた。 (3) 敷地内の植栽の管理を徹底し、年1回以上の剪定を行った。 (4) 病院職員の公共交通機関での通勤の啓蒙を図った。(啓蒙活動のみ)
第2年度	(1) 本部と連携して中長期計画書を策定し、省エネ法に基づく管理、報告を適切に行った。 (2) 廃棄物の分別の徹底を実施し、リサイクル、廃棄物抑制に努めた。 (3) 敷地内の植栽の管理を徹底し、年1回以上の剪定を行った。 (4) 病院職員の公共交通機関での通勤の啓蒙を図った。(啓蒙活動のみ)
第3年度	(1) 本部と連携して中長期計画書を策定し、省エネ法に基づく管理、報告を適切に行った。 (2) 廃棄物の分別の徹底を実施し、リサイクル、廃棄物抑制に努めた。 (3) 敷地内の植栽の管理を徹底し、年1回以上の剪定を行った。 (4) 病院職員の公共交通機関での通勤の啓蒙を図った。(啓蒙活動のみ)

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	4,320 t-CO ₂	4,203 t-CO ₂	4,171 t-CO ₂	4,285 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	2,273 KL	2,237 KL	2,261 KL	2,383 KL
事業所の数	1	1	1	1

（2）事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
日本医科大学武蔵小杉病院	川崎市中原区小杉町1-383	4,320	4,203	4,171	4,285

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度